

平山さんの名作約40点が並ぶ作品展 = 6日、高浜町文化会館



平和願う版画40点

日本画家故平山さん作品展

高 浜

シルクロードや仏教を主題とした雄大な作品で知られる日本画家平山郁夫さん(1930年〜2009年)の作品展が6日、高浜町文化会館で始まった。国連教育科学文化機関(ユネスコ)親善大使などを務めた平山さんの平和への願いが込められた作品の版画約40点が並んでいる。9日まで。入場無料。平山さんは東京芸大卒業などを務め、60年以上に

展示されている「仏伝来」は三蔵法師が馬に乗って、インドから日本へ仏典を持ち帰る様子が描かれている。平山さんは15歳の時に、広島への原子爆弾投下で被爆。後遺症に苦しむ中でこの作品を描いたとされている。また、代表作でもある「パルミラ遺跡」も行くなど並んでいる。同社は「多くの人に和を祈って活動してきた軌跡を絵を通して感じてほしい」と話している。展示時間は午前9時半〜午後6時。(小柳慶祥)

故平山郁夫氏複製版画並ぶ

高 浜

日本画家で文化勲章受章者の故平山郁夫氏の複製版画展「シルクロード・仏教伝来・平和への祈り」が、高浜町立石の町文化会館で開かれている。9日まで。入場無料。平山氏は広島県出身で被爆経験があり、東京芸術大学長や日本美術院理事長を務めた。柴田勝家の子孫に当たり、福井県もたびたび訪問していた。今回の展示では、シ



ルクロードを進むラクダの隊商を描いた「パルミラ遺跡に行く」や青森県奥入瀬渓流を描いた「流水間断無」など、平山さんが各地を取材して描いた代表作四十点の6〜20号サイズ複製版画が展示販売されている。出版などを手掛ける「ほるぶエアーアンドアイ」(大阪府)が企画。売り上げの一部は熊本地震被災者支援や東日本大震災子ども支援募金に充てる。鑑賞した若狭町の清水和夫さん(88)は「平山さんの人間性が筆遣いから迫ってくる感じがした。私も趣味で水墨画をやっているが、一歩でも二歩でも近づきたい」と話した。(山谷証裕)